

# 前号 (第34号) 目次

## [ 論 文 ]

D. ヒュームの『本性論』第2巻における情念論の構造 (3)	井上 治子	1
アメリカにおける労働運動の展開 —— 労働騎士団から AFL-CIO まで ——	豊田 太郎	59
大量生産・大量消費の経済史 —— テイラー・システム、フォード・システム、大衆消費社会 ——	豊田 太郎	73
典型的人物ヒューリスティックと同調行動の予測	酒井 春樹	87
言語類型論に関する一考察	山本 裕一	97
近代文学の始まりに与えた明治初期「立身出世」主義の影響について —— 森鷗外『舞姫』を例に ——	劉 金拳	117
アクティブ・ラーニングを考える (1) 他大学との合同ゼミ研究会実践の成果と課題	増田 敦・島崎 百恵	131
小学校低学年用看図作文の授業開発 (IV) —— フレームワークの付与による小学校第2学年の実践 —— 伊藤 公紀・渡辺 聡・石田 ゆき・兒玉 重嘉・伊藤 裕康・鹿内 信善		153
村上春樹と北海道 —— 『羊をめぐる冒険』『ノルウェイの森』、『ねじまき鳥クロニクル』 『UFO が釧路に降りる』を中心に ——	山崎 真紀子	244(一)

## [ 研究ノート ]

ポール・リクール「物語的自己同一性」に関するノート —— 「物語」を通して見えてくる「自己性」に関する考察 ——	荒木 奈美	171
北東アジア共同体憲章 (案) 北東アジアを平和、福祉、友好、協力の場に平和福祉友好協力世界機構(母国ボ A 三)の一環として	金子 利喜男	181